

カメラリポート

◀十月二十二日・二十三日、四国電力の「ふれあい館」にちがんで、四国電力山田営業所・市消防員らが、市内の独り暮らしのお年寄り十九人を訪問。火災原因による故障がないかをチェック。また、電線器具なども無料点検しました。



◀10月24日、姉妹都市岩留市から、小・中学校の校長先生代表5人の訪問がありました。当市の教育事情視察が目的で、市長を表敬訪問した後、市内の学校現場を視察。夜は市内小・中学校校長会と交流を深めました。



▲10月27日、同豊小学校で、同豊地区民運動会が開催されました。留学生も地域活動に参加しようと、手づくり「水ギョウザ」「特製キムチ」などを販売。「これは、めずらしい」と、多くの人買い求めていました。



▶十月二十三日、簡易医療創業八十周年を記念して、「かんぽふれあいトーク」が、市内のホテルで開催されました。市内郵便局などの主催。当日は、約八百五十人を前に大村寛さんが「寛ちゃん流ふれあい論」、高橋光さんが「高橋光のおいしい話」と題して講演。二人のエピソードやユーモアを交えた話で、会場は大いに沸いていました。



▶十月二十七日、地域の人たちとの交流を深めようと、知的障害者通所授産施設「なんこく共同作業所」（久礼田）で、第六回作業所まつりが開かれました。会場には、久礼田地区の民生委員などの協力で開いた売店が並び、また、バザーではお目当ての品を買い求める人でにぎわっていました。



▼11月8日、農業高校で、生活改善グループの23人が、同校生活科学科3年女子生徒39人に、伝統的な郷土料理の技術を伝え、豊かな食生活の定着を図ろうと、第8回おいしくお米を食べる交流会が行われました。



▲十一月二日、土曜市広場がかんぽ健康増進講習会が開かれました。市、野間島保険加入者協会四国地方本部などの主催。この日は十曜市開設二十周年記念祭も同時開催。会場ではラジオ体操や、健康ウォーキングも行われ、参加者らは心地よい汗を流しました。また、保健師による健康相談コーナーでは、血圧を測るなど、健康チェックを、午後からは山本博憲さん（山本循環器内科院長）による講習会が行われました。



▲11月15日から17日までの3日間、市保健福祉センターで日本盆栽協会南国支部主催の四国連合盆栽展が開かれました。会場には会員が丹精込めて育てた盆栽42点が並び、訪れた人々は「これは素晴らしい」「ようできちゅう」などと、感心しながら熱心に見入っていました。



▲十月二十二日、吾国山カッター工事の起工式が市の関係者、地元代表者、二十人の出席で行われ、山頂の水道配水タンク設置付近から西を斜めに切り取り、一万二千平方メートルの「更地」を造ろうとす



◀市、市文化推進協議会、高知新聞社主催の第36回南国市美術展覧会が11月16日から24日まで、市民体育館を会場に開かれました。今年から前期を幼児・児童・生徒の部、後期を一般の部と分けての開催となりました。

▲11月10日、「才谷村龍馬祭」が開催されました。地元実行委員会の主催で五回目。龍馬、すなわち才谷麻太郎（変名）が襲撃される直前に、中岡慎太郎と「シャモで一杯やろうじゃいか」と話し合ったであろう、恒例の「シャモの鏡」や耳薬半・特製ちらしずしなどが振るまわれ、アトラクションを楽しみながら、大勢の参加者が舌鼓を打っていました。



▶十月二十三日、高知自動車道南国インターで、昭和六十二年開通からの通過台数が一千万台を突破したことを記念して、千百一十一万一千百一十台目のドライブバーに、記念品と認定証が贈られました。



◀11月12日、第4回南国・香美地区乳牛共進会が、物部川河川敷で開かれ、乳牛60頭の発育状況などを競い合いました。



◀十月二十日から二十七日まで、市文化祭が開催されました。市文化推進協議会の主催で二十三回目。絵画写真などの展示部門には、会員などの力作が出品されていました。また、開会と閉会の両日、舞台では、日舞・民謡・コーラスなどが披露され、華をそえていました。



◀子どもたちに埋蔵文化財に興味をもってもらおうと、岩村遺跡で11月9日、市連合婦人会が日章小学校5・6年生を対象に遺跡の発掘を行いました。子どもたちはスコップなどを使い次々と掘り進め、土器の破片などを見つけていました。

▶十一月十八日、自転車の交通事故防止と交通ルールの徹底を図ろうと、後免町商店街ほかで、自転車無灯火街頭指導が行われました。

